

白鷺だより



発行 令和六年五月
 責任者 小野 宏志
 編集 白鷺の街自治会

白鷺の街第五十一回総会盛大に開催!



白鷺の街自治会の総会が盛大に開催。自治会活動は共助の原点です。

第五十一回白鷺の街自治会総会が、令和六年四月十四日(日)午後一時より、出席者四十八名で開催されました。

初めに、墨江相談役による司会の言葉があり、当該総会においての行使すべき権限の委任が百二十八名、当日の出席者と合計して、百七十六名となり、会員総数二百九名の三分の二を超え、総会が成立した宣言がありました。

小野会長代行の挨拶の後、議長及び書記の選出があり、関口氏が議長、書記に中村氏が承認を受け、議事に入りました。

議案は、合計で五議案が上程されました。初めに、第一号議案の「令和五年度事業報告」を小野会長代行から説明があり承認された。

次に、議案第二号の「令和五年度一般会計と空き地管理会計の決算報告」が多田氏によって行われ、飯田会計監査人から監査結果が報告されて、承認されました。

議案第三号の「令和六年度役員(案)」を小野氏から説明があり、承認された。その後、令和六年度会長の小野宏志氏より新役員の紹介がなされた。

また、議案第四号の「令和六年度事業計画(案)」を小野会長から説明があり承認された。

最後に、議案第五号の「令和六年度一般会計予算(案)」の説明があり承認された。

全ての議案が承認されて、第五十一回総会の閉会を有賀相談役から挨拶があり無事終了となった。

※各議案の内容については、事前に会員各位に配布をしています。

○令和六年度役員氏名

- ・ 会長 小野宏志
- ・ 会計 山崎光恵
- ・ 相談役

有賀弘康(総務部担当)

墨江利昭(生活環境部担当)

竹内一雄(防犯防災部担当)

佐藤高市(広報部担当)

- ・ 顧問 関口保 多田正春

大野浩一

- ・ 会計監査人 和田信 相楽清吉
- ・ 民生委員 有賀弘康 三輪照子
- ・ 総務部長 三澤武次
- ・ 広報部長 中村埤子
- ・ 生活環境部長 松元節子
- ・ 防犯防災部長 半澤勝三郎

※敬称略

○自治会長挨拶

会員の皆様、第五十一回総会で会長に承認されました。小野宏志でございます。

私の不徳のいたすところでございますが、今年度も副会長不在の人事となつてしまいました。他の役員及び顧問の方々他、素晴らしい面々に支えていただき、今年度の住民サービスをより一層充実させていたただきたく存じます。皆様のご協力を、引き続きお願い申し上げます。



小野会長

○部長挨拶

総務部長 三澤武次

白鷺の自治会にお世話になり、四十数年になります。デジタル社会についていけない自分がある昨今ですが、今回の任に当たり、不備な点はお容赦を願いつつ、会員の方々に、「おかげさまで」の気持ちを

抱いて、任に当たっていききたいと思っております。宜しくお願いいたします。

生活環境部長 松元節子

この度、生活環境部の部長を務めさせていただきます。松元節子です。

他の役員の方々と協力して、楽しく活動していければと思っております。至らない点もあるかと思いますが、どうぞ一年間宜しくお願い致します。

防犯防災部長 半澤勝三郎

コロナも終息、従来の日常生活になりました。団地総会も終了し、本年の予定計画が始まりました。防犯防災部長となり、今年一年担当することになりました。

安全で安心に住める白鷺団地を目指し、努力したいと思っております。今年一年皆さんと共に頑張りたいと思っております。

広報部長 中村 輝子

(編集後記に記載)

寄稿

木村 典子 五班七四号

今の木村家は、父が、二〇一六年に他界してから母との二人暮らしです。父が生きている頃は、家族三人で毎年旅に出かけておりました。

父が他界し、コロナ禍になり旅もできない状況が続きましたが、昨年五月に五類に移行し、安心して行けるようになり、今は母と近所さんと旅をしています。今回は、昨年私が行った利根町

からの熱海の旅のお話です。

まず私達は、利根町から車で首都高速と東名を乗り継いで三島で降りまずは、沼津漁港の「海鮮井・浜焼きかもめ丸」というお店で絶品「桜エビかき揚げ」を食し次は、三島大社へ。

参拝した後は、三島大社でしか購入出来ない「福太郎」を購入。厄除け餅と呼ばれ、草餅にやさしいあんがたっぷりだった美味しいお餅です。

木村家の好物でお土産として大量に購入して帰りました。その後、会社の保養所のある熱海伊豆山のホテルで相模湾が見え

る温泉に入ってゆっくり過ごしました。翌日は、ホテルから急な坂を登ったところにある。伊豆山神社へ参拝。源氏の再興を祈願した神社でこの地で頼朝と政子が結ばれた事から縁結びとしても人気でパワーみなぎる神社です。参拝後、私達は箱根方面へ車を走らせ、十国峠に行きました。パノラマカーブルカーに乗って、頂上へ。当日は天気にも恵まれ、展望台からは、三六〇度が見渡せ、富士山が近くにくっきりと見えたのは感動です。

昔の国名の伊豆・駿河・遠江・甲斐・信濃・相模・武蔵・上総・下総・安房の十の国が全て見渡せたことから十国峠と言われたそうです。

本当に名の通りの場所で初めて訪れた私は大のお気に入りになりました。

その後、箱根を通り小田原インターより各地のお土産をたくさん積んで利根町まで車を走らせ、無事に戻って来ました。一泊二日の熱海は利根町からも近いですが、本当に勧めの観光地です。今年、どこかに行こうか思案中。

十周年を迎えて

シルバリーハビリ体操サロン

三月二六日、あいにくの小雨とあって、出足が心配されたが、会館は既に人で埋まり(四二名)、急ぎ居場所を探す。

まず指導士による体操が始まり久しぶりの体操は、身体がほぐれ心地良い体操が終わり、次は楽しみなサロンです。

有賀代表から挨拶があり『今日の十周年の記念の日をこうして大勢の方々楽しく迎える事が出来たのは色々な方のお力添えと白鷺の街の皆様の温かい心だと思っています』と十年の時の流れへの思いが伝わってきました。

週一回開催されるこの会は親睦を深め、健康増進を目指し活動しています。

体操は毎週火曜日午後一時三〇分から、サロンは偶数月に体操終了後、開催して出前講座や茶話会等を行っています。

自治会主催のお祭り、町の夏祭りや桜祭りに参加し、活発に、そして長く続くことを願っています。

(取材 中村)



10周年 撮影:齊木秀雄 16班 243号

楽しさは、参加しないとわからない

墨江利昭 五班八三号

三月二三日、「誕生会なんて照れ臭い」と思いながら自治会館に出かけた。参加者は、スタッフを含め二〇名。集合写真の後、関口さんの司会で会食を交えながら進行していく。催し物のフラダンスに南国の風を感じ、続く優雅な踊りに見惚れてしまう。寸劇調の麦畑も面白く、望郷じよんがらは、熱唱だった。

ジャンケンゲームは一発勝負。力んでも効果はないが皆大声で張り切っている。久しぶりに楽しい時を過ごせたのはスタッフの細かい配慮のお陰であり感謝している。

次は、あなたが参加し、楽しむ番です。

短歌

高久映子 九班一三二号

『正月に 家族の歳を 足してみる 二七一なり たった三人』

『終活は 写真整理を 手はじめに ごめんと 言いつつ 捨てるプリン ト』

『六十年 つれ添う夫の 得意なる カレーは時々 ご近所さんへ』

『利根川の 桜堤は満開に 発案したる 友は八十路(やさじ)』

『波風の あまり無かった 人生も 貴重なもの と思える今は』

都心から白鷺に移住して五十年。橋を渡ったら何もなく、のんびりとした町でした。

同時に引越して来たご近所さん達も明るく優しい人ばかりでとても居心地が良いという事に気がつきました。

他に移りたいとも思わず、沢山の方々と関わりながら、良い思い出を作る事が出来ました。

高久映子

利根町の歴史から

柳田國男の原風景

柳田國男は、明治八年兵庫県神東郡田原村辻川(現・神崎郡福崎町)に父の松岡賢次と母のたけの六男として生まれました。明治二〇年に故郷を離れて、茨城県利根町布川(その当時は布川村)で医院を開いていた兄弟(かなえ)のもと、2年間を過ごしました。

私は、柳田國男が下総布川に来る前の兵庫県辻川の柳田國男の原風景を辿ることにしました。参考にしたのは、兵庫県福崎町観光協会とまちづくり会社PAGEが作成した動画です。同町出身柳田國男の縁のある地を巡り紹介するアニメ動画「KUNI柳田くのに優しい歌」が公開されています。

柳田の著書「故郷七十年」に登場する生家や鈴の森神社などを主人公の女子高校生が福崎町を紹介しています。



布川にて(明治21年5月)

幼少の頃の國男 利根町HPから

一三班二二七号 佐藤高市

メモリー「私の終の住処」

森石 泰弘 八班一一七号

一九七四年三月に大阪市から越してきて我が家の歴史を刻んできた「白鷺の街」にきた時。

・電話は無く(第一公園に公衆電話が一台)

・郵便局は無し、役場は古びた木造建物(現在は柳田國男記念公苑)

・幼稚園は、利根川を超えて印西へ

・小学校の運動会は、村のお祭り
・買い物は、もっぱら取手か柏へ
東京・成田に近く自然に恵まれた環境で子供の成長には、もってこいの土地で日々の生活には、不便なことが多いがそれを上回る良いことが多く、活発で熱心な方たちの自治会活動のおかげで、今まで過ごしてきました。

当時は、高度経済成長期真つた只中で仕事は、多忙で残業、休日出勤当たり前。子育ても自治会活動も「おかあちゃん」におんぶに抱っこで、普段は子供の寝顔を見るのが精いっぱい生活の繰り返しで、出張と単身赴任が私の息抜きになっていました。
六十五歳でサラリーマンを卒業

し、人並みに「サンデー毎日」となる。自治会にも参加でき、知らなかったご近所さん共親しくなるとして挨拶だけではなく、話もでき、飲み会にも参加できてやっと一人前の利根町住民になれた頃ですが、気づけば義母が先立ち、二人の息子たちは巣立って日常生活の食事・家事・雑事をすべて引き受けてくれ、私の思い通りの生活を支えてくれた最愛の妻も「そうか、もう君はいないのか」になって、七年経ちました。が、人生を共に分かち合ってきたベストパートナーとして、今も見守ってくれて、今日の私があることに、ありがたく思っています。過疎で超不便な街だけど、こんなに心地良い居場所でご機嫌な日々をいつまでも過ごしたい。嫌老社会(老人嫌い)から自立した「賢老社会」を目指し、『稼ぎがあるから、年金はいらないよ、国のお金は若い人たちの子育てや教育に回して欲しい』と言えるようになりたい。



しらさぎ伝言板

○ピカピカの小学校一年生 祝

大関斗須(おおせきとうま)さん
「いっぱい勉強がんばって、たくさん友達をつくりたいです」

○中学校一年生 祝

小嶋翼(こじまつばさ)さん

「中学生になって頑張りたいことは、主に部活と勉強です。部活では、先輩たちから信頼をえられるようになりたいです。勉強では、いい成績をとれるようがんばりたいです。」

○中学校一年生 祝

竹内漣(たけうちれん)さん

「僕は中学になり、部活動が始まるので体力をつけて頑張りたいと思います。」

○ようこそ白鷺の街へ

大曾根ファミリイ様

「富里から妻彩(あや)、長女穂(みのり)、猫三匹の大所帯で引越してきました。大曾根慶太です。長女穂は、大和幼稚園へ通っています。休日には、野田まで出かけ、プレサスという野球チームで、ピッチャーを楽しんでいます。第二公園の家の前を通られる時は、猫たちに声をかけてください。」

○訂正とお詫び

(前広報部長 墨江利昭)
前号、グラントゴルフの記事で優勝、多田正春さんと記しましたが多田芳子さんに訂正いたします。起草された浅井将治さん初め関係者の皆様にお詫びいたします。

利根町の「常住人口」
(利根町 HP より)

令和6年4月1日現在

世帯数	6,570 世帯
人口	14,814 人
(男)	7,241 人
(女)	7,573 人

編集後記

今年度、高位、二木、中村の三人で広報を担当することになりました。佐藤相談役を中心に編集を進めていきたいと思っています。皆様の沢山のご投稿お待ちしております。どうぞ、宜しくお願い致します。

広報部部員一同